令和7年12月2日

# 第7回臨時会議案 (別冊2)

厚真町議会

### 議案第11号

令和7年度厚真町下水道事業会計補正予算(第2号)

(総則)

第1条 令和7年度厚真町の下水道事業会計補正予算(第2号)は、次に定めるところによる。

(収益的収入及び支出)

第2条 令和7年度厚真町下水道事業会計予算(以下「予算」という。)第3条に定めた収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

収 入

科  目	既 決 予 定 額	補正予定額	計
第1款 下水道事業収益	261,734千円	7 4 9 千円	262,483千円
第1項 営 業 収 益	60,480千円	0千円	60,480千円
第2項 営業外収益	201,254千円	7 4 9 千円	202,003千円
支 出			
科目	既決予定額	補正予定額	計
第1款 下水道事業費用	261,734千円	7 4 9 千円	262,483千円
第1項 営 業 費 用	257,605千円	7 4 9 千円	258,354千円
第2項 営業外費用	4, 129千円	0 千円	4, 129千円

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第3条 予算第9条に定めた職員給与費の金額を19,376千円から20,125千円に改める。

(他会計からの補助金)

第4条 予算第10条に定めた一般会計からこの会計への補助を受ける金額を117,334千円から118,083千円に改める。

厚真町長 宮 坂 尚 市 朗

## 令和 7年度 厚真町下水道事業会計補正予算実施計画第2号

(収益的収入及び支出)

		( 10 )				
(収入の部)						(単位 千円)
款	項		既決予定額	補正予定額	計	備考
1. 下水道事業収			261, 734	749	262, 483	
益						
	2. 営業外収益		201, 254	749	202, 003	

117, 334

749

118, 083

2. 他会計補助金

(支出の部) (単位 千円) 既決予定額 補正予定額 Ħ 計 備考 261, 734 262, 483 1. 下水道事業費 749 用 1. 営業費用 257, 605 749 258, 354 4. 総係費 34, 243 749 34, 992

## 令和7年度厚真町下水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

	(単位:円)
1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純損失	10, 582, 454
減価償却費	130, 474, 000
賞与引当金の増減額(△は減少)	39,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	9,000
長期前受金戻入額	$\triangle$ 74, 638, 000
未収金の増減額(△は増加)	10, 275, 460
未払金の増減額(△は減少)	$\triangle$ 22, 365, 006
<ul><li>不力並の背滅領(口は減少)</li><li>受取利息及び受取配当金</li></ul>	
	△ 56, 000
支払利息	4, 129, 000
小計	37, 285, 000
利息及び配当金の受取額	56, 000
利息の支払額	△ 4, 129, 000
業務活動によるキャッシュ・フロー	33, 212, 000
0 - 机次江和ルフトフナル いこく ・ フロ・	
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	A 194 4F4 000
有形固定資産の取得による支出	$\triangle$ 134, 454, 000
基金への積立による支出	$\triangle$ 16, 000
基金繰入金による収入	19, 712, 000
一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入	63, 252, 000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 51, 506, 000
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	85, 200, 000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	$\triangle$ 82, 777, 000
その他の企業債による収入	2,000,000
その他の企業債の償還による支出	$\triangle$ 2, 363, 000
他会計からの出資による収入	
,—, ,, , , , , , , , , , , , , , , , ,	7,056,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	9, 116, 000
資金増加額	$\triangle$ 9, 178, 000
資金期首残高	44, 129, 476
資金期末残高	34, 951, 476
S E/M/D/AIR	01, 001, 110

(1)総括 (単位:千円)

<u> </u>	/ 形心	10																							(半世・1 口)
区			分		特別暗		職員数 	T 一舟	中的	報		шm	給 給	华	<u>与</u> 判手 当	費		<u></u> 計	法 定	福利	曹	合	計		備考
44	_	_	131	/ 0	7417174		1 /	70	又4K 9	工工		1971			1 3 -					4	0.70		00.105		
佣		<u>E</u>	後	( 0	)	0	人(	0)	۷,	人		0		3,35		7,690		16,047			,078		20,125		
補	Ī	E.	前	( 0	)	0 .	人 (	0)	2 .	人		0	3	3,05	7	7,347		15,404		3,	972		19,376		
比			較	( 0	)	0	人 (	0)	0	人		0		300	0	343		643			106		749		
				17.		<b>Л</b> 4	叶 美	工 业	#11 +:	- 工 业	井 名	4 工 业	寒冷地手当	1	日壬业	<b>竺</b> 田融工)	业 時	間外	通勤	王 水	特	殊	児童手	三当	旅費
職	員	手	当	区			大 食	ナョ	朔不	- 十 目	<b>到</b> 龙	2 ナョ		土	店 ナョ	官理城士	当時勤	務手当	囲 刬	手 当	勤務	手 当	冗 里 寸	- <b>=</b>	(費用弁償)
				補	正	後		752		2,160		1,779	273	3	0		0	1,566		270		0		890	0
の	Þ	1	訳	補		前		752		1,985		1,671	273	3	0		0	1,506		270		0		890	0
				比	Ī	較		0		175		108	(	)	0		0	60		0		0		0	0
i						•																		•	

()内は、短時間勤務職員で外書き

ア 会計年度任用職員以外の職員(検針員含む)

	$\perp$		<u>又   上 / I</u>	114成	只么	/ J*V.	ノ州以只	<u>. (1)</u>	只口	147																			
$\boxtimes$	<u>-</u>		分耳	戠	員		数報			酬給	給		 料	<del>)</del> 手	<u></u> 当	等	計	+	法:	定福利	費	合	計		ĺ	莆		考	
補	Ì	正.	後(	(	)	2	人						8,357		7,	690		16,047		4,0	)78		20,	125					
補	Ì	正	前 (		)	2	人						8,057		7,	347		15,404		3,9	972		19,	376					
比	,		較 (	(	)	0	人			0			300			343		643		1	106			749					
<b>暗</b>		手 内	当	区補補	ш.	分後前	扶養	手当 752 752	期末	۷,10	U	助 勉	1,119	寒冷地	手当 273 273	住月	居 手 当 0	管理職員	手当	勤務手	000	通勤	手当 270 270	特勤務	殊 手当 0	児童	手当 890	旅 (費用弁償	費 (1) (1) (1)
0,	,	L.1	訳	比	止	較		0		1,98 17			1,671 108		0		0		0		60		0		0		890		0

()内は、短時間勤務職員で外書き

イ 会計年度任用職員

	$\perp$	<u> </u>	T/X	<u>( 14</u>	<u> </u>	又																												
×	-			分	職	į	1	数	報		酬	給	1		料	<del>)</del> 手	当	<u>費</u>	<b></b>	計	+	— 法	定	福	利	专	合	計		備			考	
補		正		後	(	)	0	人			0				0				0			0				0			0					
補	Ì	正		前	(	)	0	人			0				0				0			0				0			0					
比	, ,			較	(	)	0	人			0				0				0			0				0			0					
職の		內	手	当訳	区補補比		後		養	手 当 0 0 0		<ul><li>当</li><li>0</li><li>0</li></ul>	勤,	勉 手	E 当 0 0	寒冷	地手当	自住 0 0 0	居	手 当 0 0	管理聯	<b>戦手</b>	当 勤 0 0	務	手	小 当 0 0 0	勤 手	当 り 0 0	: ] 務 手	殊 旦 り り り	童 手	当 ( 0 0 0	を 費 費用弁償) 0 0 0	

()内は、短時間勤務職員で外書き

## 令和7年度 厚真町下水道事業 予定貸借対照表

( 令和8年3月31日 )

(単位:円)

	資	産の部		
1. 固定資産				
(1) 有形固定資産				
イ.土地		41, 994, 388		
口. 建物	443, 350, 989			
建物減価償却累計額	△ 31, 720, 000	411, 630, 989		
ハ. 構築物	1, 818, 226, 196			
構築物減価償却累計額	△ 90, 861, 000	1, 727, 365, 196		
ニ. 機械及び装置	593, 801, 588			
機械装置減価償却累計額	△ 118, 953, 000	474, 848, 588		
ホ. 工具器具及び備品	183, 750			
工具器具備品減価償却累計額	△ 166,000	17, 750		
有形固定資産合計			2, 655, 856, 911	
(2) 投資その他の資産				
イ. 基金		106, 332, 638		
投資その他の資産合計		_	106, 332, 638	
固定資産合計				2, 762, 189, 549
2. 流動資産				
(1) 現金預金			34, 951, 476	
(2) 未収金			46, 006, 520	
(3) 貸倒引当金			△ 9,000	
流動資産合計			_	80, 948, 996
資産合計				2, 843, 138, 545

## 負債の部

3. 固定負債			
(1) 企業債			
イ. 建設改良費等の財源に充てる企業債	794, 699, 000		
ロ. その他の企業債	10, 787, 000		
企業債合計		805, 486, 000	
固定負債合計			805, 486, 000
4. 流動負債			
(1) 企業債			
イ. 建設改良費等の財源に充てる企業債	86, 260, 000		
ロ. その他の企業債	2, 363, 000		
企業債合計		88, 623, 000	
(2) 未払金			
イ. 営業外未払金	3, 153, 000		
ロ. その他未払金	5, 651, 918		
未払金合計		8, 804, 918	
(3) 引当金			
イ. 賞与引当金	1, 538, 000		
引当金合計		1, 538, 000	
(4) その他流動負債合計			
流動負債合計			98, 965, 918
5. 繰延収益			
(1) 長期前受金		1, 643, 526, 180	
(2) 長期前受金収益化累計額	_	△ 147, 054, 000	
繰延収益合計		<u>-</u>	1, 496, 472, 180
負債合計		<u> </u>	2, 400, 924, 098

資本の部

6. 資本金 403, 359, 455 7. 剰余金 (1) 資本剰余金 イ. 国庫補助金 15, 996, 083 口. 他会計補助金 11, 054, 661 資本剰余金合計 27, 050, 744 (2) 利益剰余金 イ. 当年度未処分利益剰余金 11, 804, 248 利益剰余金合計 11, 804, 248 剰余金合計 38, 854, 992 資本合計 442, 214, 447 負債資本合計 2, 843, 138, 545

## 令和7年度注記表

- I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記
- 1. 固定資産の減価償却の方法
  - (1) 有形固定資産

定額法

主な耐用年数

建物15年~50年構築物10年~60年機械及び装置6年~20年車両及び運搬具5年

- 2. 引当金の計上基準
  - (1) 退職給付引当金

職員の退職手当は、一般会計がその全部を負担することとなっているため、退職給付引当金は計上していない。

(2) 賞与引当金及び法定福利費引当金

職員の期末・勤勉手当の支給及びこれに係る法定福利費の支払に備えるため、当事業年度末における支給見込額に基づき、当事業年度の負担に属する額(12月から3月までの4か月分)を計上している。

(3)貸倒引当金

債権の不能欠損による損失に備えるため、貸倒実績率等による回収不能見込額を計上している。

- 3. その他会計に関する書類の作成のための基本となる重要な事項
  - (1)消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

### Ⅱ. 予定貸借対照表等関連

企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債(当該事業年度の末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む)のうち、他会計が負担すると見込まれる額は894,954千円である。

### Ⅲ. セグメント情報の開示

(1)報告セグメントの概要

下水道事業会計は、公共下水道事業及び特定地域排水処理施設事業を運営しており、それぞれ運営方針等を決定していることから、当該2事業を報告セグメントとしている。

なお、各報告セグメントに属する事業の内容は以下のとおりである。

事業区分	事業の内容
公共下水道事業	市街地から排出される汚水を排除し処理する業務
浄化槽市町村整備推進事業	各戸別からし尿や生活排水などの汚水を処理する業務

### (2) 報告セグメントごとの営業収益等

当年度(自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日)

(単位:千円)

	公共下水道事業	浄化槽市町村整備 推進事業	合計
営業収益	32, 427	22, 559	54, 986
営業費用	182, 066	64, 689	246, 755
営業損益	△ 149, 639	△ 42, 130	△ 191, 769
経常損益	△ 9,843	△ 739	△ 10, 582
セグメント資産	2, 267, 288	575, 850	2, 843, 138
セグメント負債	1, 931, 046	469, 878	2, 400, 924
その他の項目			0
他会計繰入金	89, 255	28, 828	118, 083
減価償却費	102, 456	28, 018	130, 474
特別利益	0	0	0
特別損失	0	0	0
有形固定資産及び			
無形固定資産の増加額	101, 454	33, 000	134, 454

#### IV. その他の注記

- 1. 引当金の目的使用による取り崩し
  - (1) 賞与引当金

令和7年度において、職員の期末手当・勤勉手当の支給、及び当該支給にかかる法定福利費を支出するために取り崩すことが見込まれる賞与引当金の額は1,499千円である。